

松潟堰の撤去に伴う下流部 の整備について（報告）

平成22年2月10日（水）
一宮川流域委員会事務局

目 次

1. 松潟堰の撤去について	26
(1) 撤去作業の現状	
(2) 撤去による効果	
2. 松潟堰下流部の整備について	28
(1) 現在事業を進めている箇所の説明	
(2) 当面整備による効果	

1. 松潟堰の撤去について

(1) 撤去作業の現状

Ⅱ 新しく完成した松潟堰



Ⅰ 撤去中の旧松潟堰



河川整備計画改修区間 ①



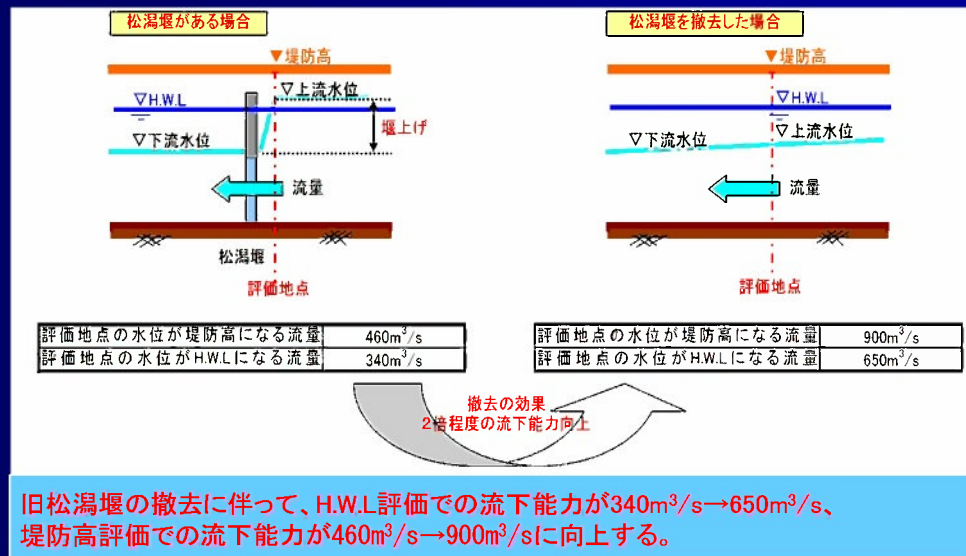
現在、旧松潟堰の撤去作業を鋭意行っています。

ここからは、1. 松潟堰の撤去についての報告です。

写真は新しく完成した松潟堰と旧松潟堰の撤去の様子で、平成22年の出水期までに旧松潟堰の撤去を完了させるとのことです。

1. 松潟堰の撤去について

(2) 撤去による効果



旧松潟堰は一宮川下流域最大のネック部であり洪水の際に流れを阻害しているものです。

この堰が撤去されれば、流下能力が340m³/sから650 m³/sと約2倍となり治水安全度は大きく向上します。

2. 松潟堰下流部の整備について

(1) 現在事業を進めている箇所の説明 (新一宮大橋～JR)

a. 整備の状況(河道掘削・引堤工事)



河川整備計画改修区間 ①



ここからは、2. 松潟堰下流部の整備についての報告です。

松潟堰の撤去が完了するとこれまでの約2倍の流量が下流部に流れてくることとなるため、現在これに対応して急ピッチで整備を進めています。

現在整備中の新一宮大橋～JRの間では、写真に示すような河道掘削を行っています。

2. 松潟堰下流部の整備について

(2) 現在事業を進めている箇所の説明 (松潟堰下流)

a. 整備の状況(河道掘削)



現在整備中の松潟堰下流では、写真に示すような河道掘削を行っています。

2. 松潟堰下流部の整備について

(2) 現在事業を進めている箇所の説明 (松潟堰下流)

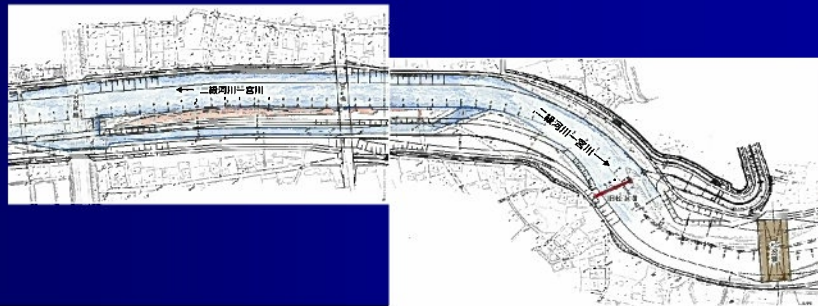
b. 現状の課題

【評価】

- ・現在、一部の土地の地権者が確認困難となっており、土地の用地買収が困難な状態となっている。

【課題】

- ・そのような状態の中でも、極力、一宮川の治水安全度を向上させる必要がある。



図は、松潟堰下流の地権者確認が困難な箇所の位置図ですが、一部の土地の地権者確認が困難となっており、用地買収が困難となっています。

そこで、引き続き用地買収に向けた地権者の確認を粘り強く続けますが、併せて、そのような状態の中でも、極力、一宮川の治水安全度を向上させる必要があると考えています。

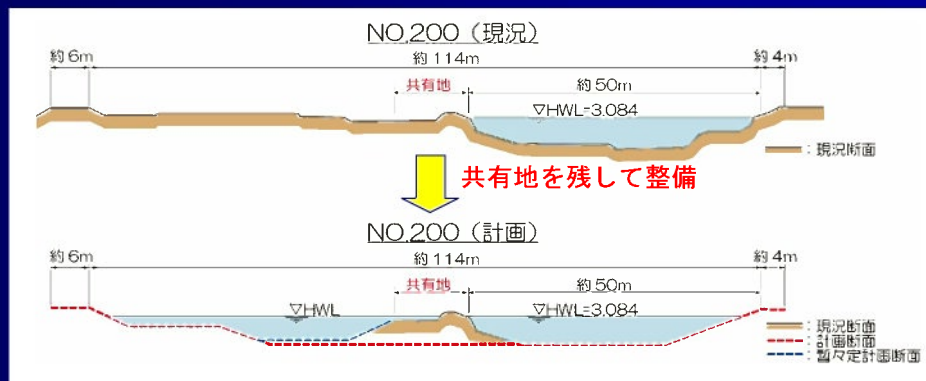
2. 松潟堰下流部の整備について

(2) 現在事業を進めている箇所の説明 (松潟堰下流)

c. 整備の方向性

【整備の方向性】

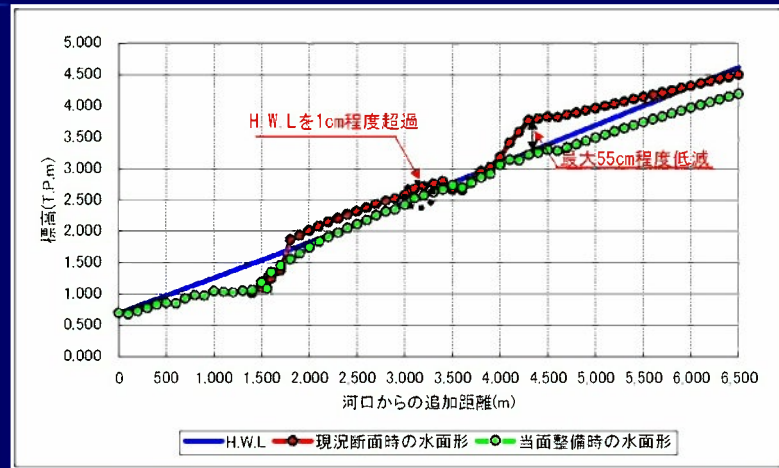
当面は、地権者確認が困難となっている共有地を残し、用地買収を行った箇所から河川整備を行う。



松潟堰下流部には未買収の共有地が存在しますが、治水効果を早期に発現させるため、共有地を残して、河川整備を行うこととします。

2. 松潟堰下流部の整備について

(3)当面整備による効果



当面整備によって、概ね、平成8年9月22日洪水時の流量 $760\text{m}^3/\text{s}$ を計画高水位の高さで流すことが可能になる。

上の図は、整備前後の断面毎の計算水位と整備効果を示したのですが、今回の松潟堰の撤去及びこれに併せた下流部の整備による効果として、平成8年9月22日に発生した洪水流量 $760\text{m}^3/\text{s}$ に対し、赤い線から緑の線まで水位が下がることが想定されます。